

令和元年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 北広島商工会 経営発達支援事業評価委員会
2. 開催日時 令和2年2月18日（火）午後4時
3. 開催場所 北広島商工会館 2階理事会室
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 道都大学経営学部教授 鈴木 重政
税理士 吉田 高志
北広島市商工業振興課長 林 睦晃
商工業者代表 大西 広明
 - (2) 商工会 事務局長 浜田 薫
経営指導員 竹内 伸泰
経営指導員 工藤 功治
5. 内容
定刻となり、事務局が開会を宣し、鈴木委員長の挨拶の後、直ちに議事に入る。

(1) 経営発達支援計画の遂行状況について

事務局は、本年度実施した経営発達支援計画に関する取組状況について説明した。実施状況は以下のとおり。

①地域経済動向の調査に関すること

取組内容1：全体経済の把握の実施

目標：随時 実績：随時

検証結果：経済動向については、各種データにより把握し経営相談や金融支援などに活用した。金融支援等で先行き予想などに活用し、事業計画書作成支援に役立った。

取組内容2：地域内経済動向調査の実施

目標：四半期ごと 実績：四半期ごと

検証結果：独自の小規模事業者景気動向調査を実施し、地域内の経済状況把握に努めた。四半期ごとの調査としたため回収率が向上し、より正確な状況を捉えられることができた。

取組内容3：地元金融機関との情報交換会の実施

目標：毎月 実績：毎月

検証結果：会を開催することはしなかったが、融資斡旋時等に市内の経済状況等について聴取した。当会で収集した情報との精査により、より正確な市内経済状況を把握することができた。

②経営状況の分析に関すること

取組内容1：現状把握のためのSWOT分析の実施

目標：50件 実績：20件

検証結果：巡回訪問により、経営支援に携わる7名の職員が各事業所の現状把握や課題の抽出などを行った。今回経営支援に携わった職員が事業所の現状把握をすることで、事業計画策定支援等の重要性が共有された。

取組内容2：ネットde記帳データ活用による財務分析の実施

目標：60件 実績：51件

検証結果：経営分析機能を利用し、受託事業所全社の分析をした。財務上の問題点を本人に分かりやすく伝えられ、金融支援にも繋がった。

取組内容3：小規模事業者経営改善資金（マル経）活用による財務分析の実施

目標：12件 実績9件

検証結果：マル経融資検討のため、経営分析等を実施した。経営内容を確実に把握することができ、総合的な支援ができた。

取組内容4：経営自己診断システム利用による分析の実施

目標：5件 実績0件

検証結果：実施しなかった。

取組内容5：専門家活用による経営分析の実施

目標：5件 実績：4件

検証結果：事業の継続等に向け分析をした。事業者の事業継続に繋げることができた。

③事業計画策定支援に関すること

取組内容1：SWOT分析により掘り起こした事業者への事業計画策定支援の実施

目標：25件 実績：0件

検証結果：多くの職員で分析には取り組んだが事業計画策定までには至らなかった。単に事業計画書作成を希望した事業者はなく、金融、補助金申請への支援と重複した。

取組内容2：ネットde記帳、経営自己診断システムにより掘り起こした事業者への事業計画書策定支援

目標：30件 実績：1件

検証結果：単に業計画作成を希望した事業者はなく、金融、補助金申請への支援と重複した。

取組内容 3 : 融資斡旋時における経営改善計画書作成支援の実施
目標 : 12件 実績 9件
検証結果 : 融資時における財務分析で問題点を改善するための計画書作成支援をした。マル経のほか市融資斡旋に繋がった。

取組内容 4 : 補助金申請に係る事業計画書作成支援の実施
目標 : 10件 実績 18件
検証結果 : 持続化補助金の計画書作成支援をした。補助金の申請、採択に繋がった。

取組内容 5 : 事業継承に向けた計画策定支援の実施
目標 : 3件 実績 0件

検証結果 : 事業継承に至るような相談はなかった。

取組内容 6 : 創業計画書作成支援の実施

目標 : 10件 実績 8件

検証結果 : 創業計画書作成支援をした。うち1件は助成金申請の支援もした。

取組内容 7 : 経営革新計画書作成支援の実施

目標 : 10件 実績 1件

検証結果 : 先端技術導入計画策定支援をし、認定に至った。

取組内容 8 : 人材育成支援の実施

目標 : 10件 実績 : 2件

検証結果 : 中小企業大学校旭川校での研修費助成をした。助成することが受講の後押しとなり従業員の資質向上が図られた。

④事業計画策定後の支援に関すること

取組内容 1 : 巡回訪問時における事業計画策定後のフォローアップの実施

取組内容 2 : 専門家と連携したフォローアップの実施

取組内容 3 : 事業計画策定後の金融支援等によるフォローアップの実施

目標 : 120回 実績 : 60回

検証結果 : 事業計画策定支援後のフォローアップをし事業計画の遂行状況を把握することで事業者の経営改善に繋がった。

取組内容 4 : 創業者へのフォローアップの実施

目標 : 30回 実績 8回

検証結果 : 巡回訪問等により、開業後の課題を聴取。問題解決に向けたアドバイスにより事業を継続している。

⑤需要動向調査に関すること

取組内容 1 : 需要動向等調査の実施

目標：毎月 実績：毎月

検証結果：必要な情報の収集のみの対応に終わってしまった。情報提供までには至らなかった。

⑥新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事

取組内容1：インターネットを活用した需要の開拓

目標：10件 実績：4件

検証結果：持続化補助金によるHP作成支援をした。受注システム等により支援事業所の需要増が見込まれる。

取組内容2：アンテナショップを活用した需要の開拓

目標：3件 実績：0件

検証結果：アンテナショップでの商品販売を考えている事業者がなく、実施しなかった。巡回訪問等により、出店者の掘り起こしを行い、目標を達成できるよう取り組む。

取組内容3：展示会・物産展等への積極的参加による需要の開拓

目標：3件 実績：1件

検証結果：持続化補助金を活用し、展示会への出店支援をした。商品販売やPRができ販路開拓に繋がった。

取組内容4：赤毛米を活用した新商品開発による需要の開拓

目標：実施 実績：実施

検証結果：赤毛米を原料としたパンや菓子、まいピー関連商品の開発を促した。菓子および赤毛米の日本酒「久蔵翁」の販売に繋がり、赤毛米の認知度が向上。まいピー関連商品も開発された。

取組内容5：三井アウトレットパーク札幌北広島・くるるの杜と連携した需要の開拓

目標：実施 実績：実施

検証結果：くるるの杜で赤毛米セット販売。

取組内容6：パブリシティ等の活用

目標：随時 実績：随時

検証結果：赤毛米関連商品を北海道新聞の記事として取り上げてもらいPRを図った。各個店の開発商品および商工会の開発商品を合わせてPRすることができた。

⑦地域経済の活性化に資する取組

取組内容1：空き店舗利用促進事業の実施

目標：7件 実績9件

検証結果：75,000円を上限とし、家賃の半額補助を実施し9件の実績があった。空き店舗が解消され地域活性化に繋がった。

取組内容 2 : にぎわい創出のための販促事業の実施

目標 : 実施 実績 : 実施

検証結果 : 商工魅力発信事業を実施。店主等がお客様に専門的な知識やコツを伝える講習会を開催した。43事業所で213名の参加があった。

取組内容 3 : 三井アウトレットパーク札幌北広島・くるるの杜来場者の市街への誘引

目標 : 試行 実績 : 未実施

取組内容 4 : 市内イベントへの「きたひろまいピー」出演による賑わい創出

目標 : 実施 実績 : 実施

検証結果 : 市内のイベント15件に出演するとともに、市外3件の出演をした。まいピーが出演したことにより、イベントの集客力が高まった。子供達がマイピーの周りに多く集まった。三井アウトレットパークでのPR出演動画ではYouTubeによりインバウンドへのPRにも繋がった。

⑧他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する こと

取組内容 1 : 日本政策金融公庫・地元金融機関との情報交換に関する事項

目標 : 随時 実績 : 随時

検証結果 : 経済状況や金融状況、個別案件に係る情報交換など行い、金融支援の円滑化が図られた。

取組内容 2 : 専門家との情報交換に関する事項

目標 : 12回 実績 : 6回

検証結果 : 事業計画策定等で経営指導員が同行し、専門家との情報交換をした。経営指導員以外の同行はなかった。

⑨経営指導員等の資質向上等に関する こと

取組内容 1 : 研修等への派遣

目標 : 随時 実績 : 随時

検証結果 : 北海道商工会連合会、中小企業大学校の研修を予定どおり派遣した。職員の資質向上が図られたが、経営発達支援を全職員で実施するまでには至っていない。

取組内容 2 : 職場内研修等の実施

目標 : 随時 実績 : 随時

検証結果：研修に参加した職員から、朝礼時等に知識や情報の提供があった。職員の資質向上に効果があったが、より掘り下げた研修によりさらなる資質向上が必要。

⑩事業の評価見直しをするための仕組みに関すること

取組内容：事業評価委員会の開催

目標：1回 実績1回

検証結果：外部委員等に評価してもらうことで事業の透明性が確保された。

(2) 経営発達支援計画の見直し等について

今年度の見直しはなかった。

その他、次年度で本経営発達支援計画期間が終了し、次の計画は市と連携して作成することを説明し、評価委員会を閉会した。午後5時25分であった。